

# InfoFrame Relational Store 負荷評価モデル

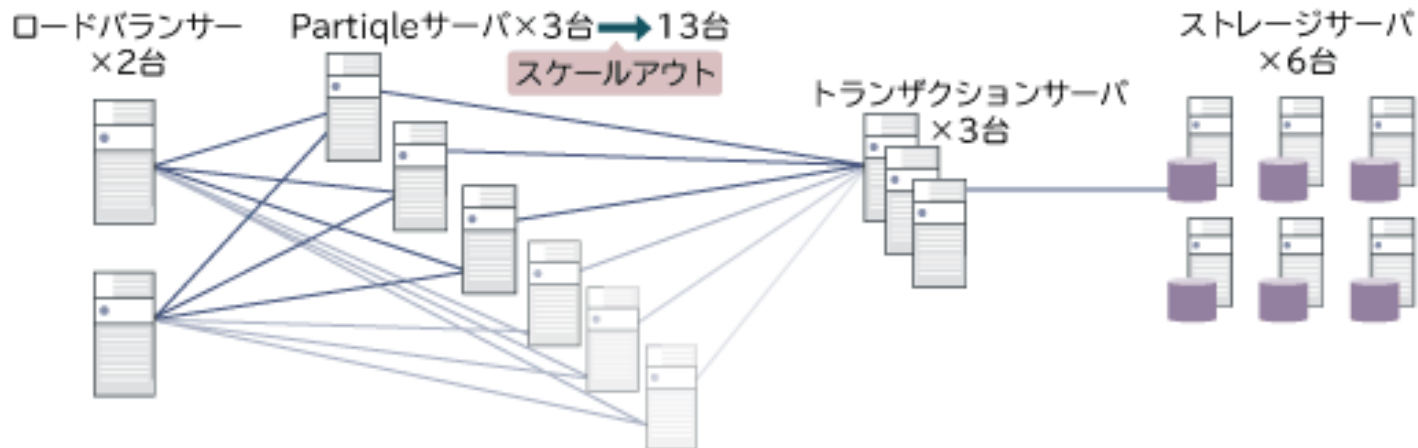
## IRS 導入前 ( 通常の RDB を利用 )

スケールアウトが難しいため、ピーク時の性能を想定したシステムの構築が必要



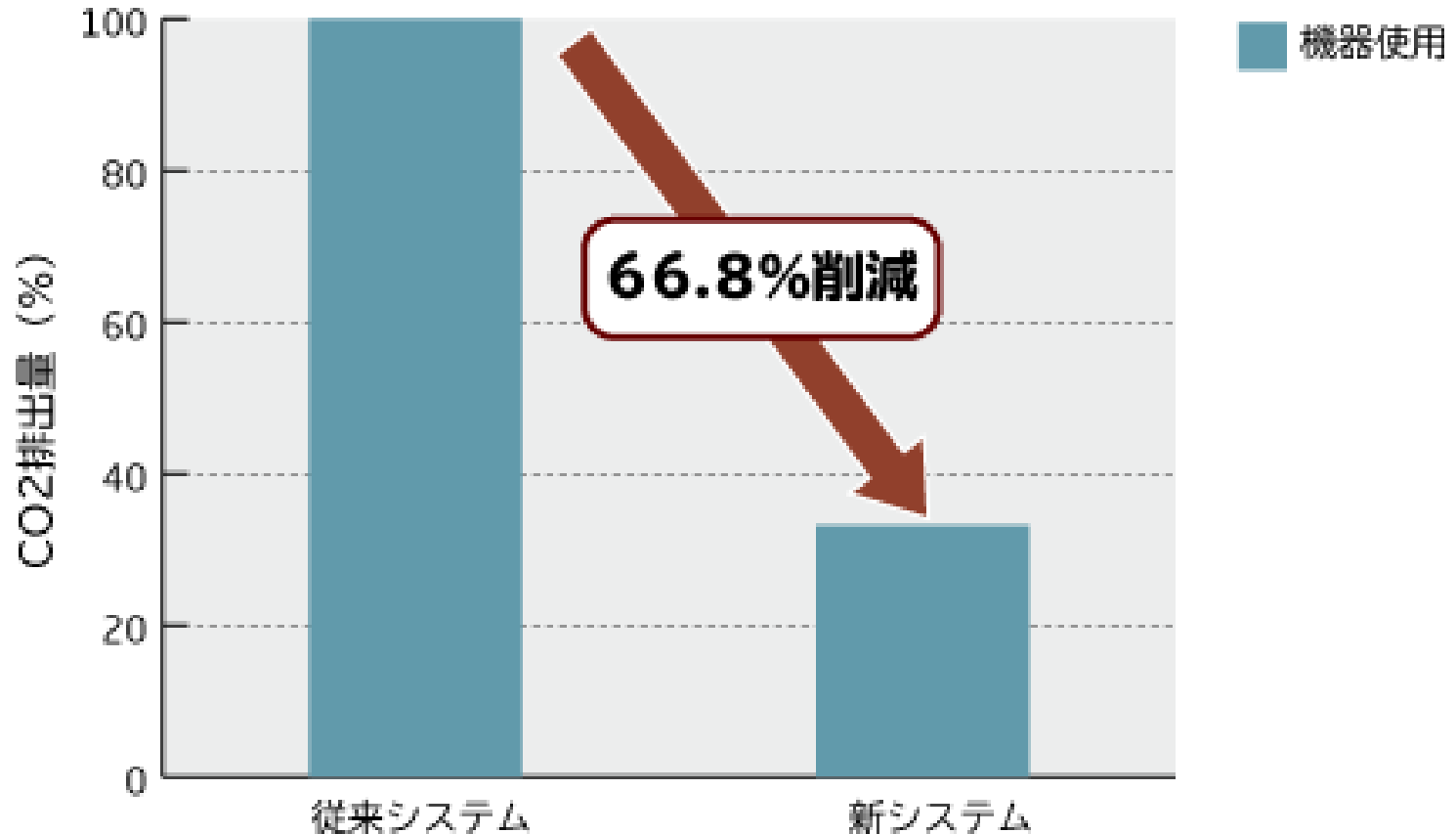
## IRS 導入後

柔軟なスケールアウトができるためアクセスが集中する時期だけスケールアウトして対応する、ストレージサーバはデータを3重化しているので高額の共有ストレージは必要ない



# InfoFrame Relational Store 負荷評価結果

主に機器使用により、66.8%のCO<sub>2</sub>排出量を削減できる



※ サーバと共有ストレージの電力消費量はそれぞれ以下のモデルの電力消費量を参考にしました。  
Express5800/B120e 281W(DC) iStorage D8-30(SATA) 1750W(DC)